

一般社団法人 教育システム情報学会

Japanese Society for
Information and Systems in Education

ニュース・レター No.209



発行日 2017年7月31日
発行所
一般社団法人
教育システム情報学会
発行者 仲林 清
〒162-0801
東京都新宿区山吹町358番地5
アカデミーセンター
URL <http://www.jsise.org>
E-MAIL secretariat@jsise.org

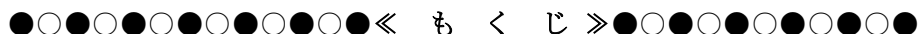
2017年度 JSiSE 全国大会(第42回)のご案内

開催日 : 2017年8月23日(水) ~ 25日(金)

開催場所 : 北九州国際会議場

<http://www.jsise.org/taikai/2017/>

是非ご参加下さい!!



2017年度 全国大会のご案内・・・	1-4	他団体協賛・後援のお知らせ・・・	14
2017年度 第3回研究会 講演募集・・・	5-6	会費納入のお願い・・・	15-16
2017年度 第4回研究会 講演募集・・・	7-8	事務局より・・・	17-18
2017年度 第2回研究会 開催報告・・・	9	会員専用ページの案内,	
教育システム情報学会研究会における不適切な		学会誌・研究報告バックナンバーのご案内,	
質問等への対応について・・・	10	新入会員のご紹介,	
支部活動報告, 案内・・・	11	入会のご案内	
研究会報告年間購読の申し込みについて・・・	12		
学会 Twitter,			
Facebook ページのご案内・・・	13		



第42回 JSiSE 全国大会のご案内

テーマ： 未来を拓く情報学と教育の情報化

ウェブサイト： <http://www.jsise.org/taikai/2017/>

facebook ページ： <https://www.facebook.com/jsise.org/>

twitter ハッシュタグ： #jsise2017

- 開催日時： 2017年8月23日(水)～8月25日(金)
- 会場： 北九州国際会議場 (〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30)
- 主催： 一般社団法人教育システム情報学会

■ 大会日程 (予定)

昨年度と異なる点としまして、2日目の昼休みに一般セッション会場にて、企業ランチョンセミナーが開催されます。無料で配布されるお弁当を食べながら企業のプレゼンテーションを聴くことができます(お弁当は先着順です)。また1日目のインタラクティブ発表においては、同時に海を眺めながらの Welcome drinkをお楽しみいただけます。

8月23日(水)	
9:00～11:50	プレカンファレンス
13:00～14:20	一般セッション(口頭発表のみ)、企画セッション
14:40～16:40	オープニング(大会委員長、現地校挨拶)、基調講演(会長)、企業セッション
17:00～18:00	一般セッション(インタラクティブ発表)& Welcome drink
8月24日(木)	
9:00～11:50	一般セッション(口頭発表のみ)、企画セッション
11:50～13:00	昼休み & 企業ランチョンセミナー
13:00～14:20	一般セッション(口頭発表のみ)、企画セッション
14:40～16:30	特別講演(萩谷昌己先生(東京大学 情報理工学系研究科))、各種表彰
16:50～17:50	一般セッション(インタラクティブ発表&学生研究特別セッション)
18:30～20:30	懇親会(会場:リーガロイヤルホテル小倉)
8月25日(金)	
9:00～11:50	一般セッション(口頭発表のみ)、企画セッション
13:00～13:20	クロージング・大会奨励賞表彰
13:30～15:30	JSiSE 公開シンポジウム ○基調講演(鹿野利春先生(国立教育政策研究所 教育課程研究センター)) ○事例紹介・討論(パネルディスカッション)

(*) 大会日程は変更の可能性があります。

■ 交通アクセスについて

お車でのご来場も可能です。北九州都市高速道路小倉駅北ランプより車で1分です。ただし駐車場は有料です。周辺の駐車場および上限料金は <http://convention-a.jp/access/parking/> をご確認ください。

■ 大会参加費

事前申込	当日申込
一般会員：7,560円 学生会員：3,240円 非会員（学生以外）：10,800円 非会員（学生）：5,400円 論文掲載料：1,000円（論文一編につき）	一般会員：8,500円 学生会員：4,000円 非会員（学生以外）：12,000円 非会員（学生）：6,500円
全国大会当日、またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は、会員料金でお申し込みいただけます。	
[懇親会費] 一般：5,000円 学生：3,000円	[懇親会費] 一般：7,000円 学生：3,000円

参加費等はいずれも税込みです。支払いの詳細は、大会 Web サイトをご覧ください。

プレカンファレンス、および現地主催公開シンポジウムの参加は自由です。これらのみに参加する場合は、大会への参加申し込みは不要です。

■ プログラム

プログラムは変更の可能性があります。最新の状況は大会 Web サイトに掲載いたします。

○ 基調講演（8月23日（水） 15:00～15:30）

「学習システムデザインパターン論－破壊的イノベーションの視点から－」

仲林 清（教育システム情報学会 会長、千葉工業大学 情報科学部 教授）

○ 特別講演（8月24日（木） 14:40～16:10）

「情報学のためでない情報教育」

萩谷 昌己（東京大学 情報理工学系研究科 教授）

○ JSiSE 公開シンポジウム（8月25日（金） 13:30～15:30）

➤ 基調講演

「新学習指導要領における情報活用能力の位置付け」

鹿野利春（国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官）

➤ 事例紹介・討論

「情報教育で養成する資質・能力

－情報学的な見方・考え方とプログラミング的思考－」

オーガナイザ：西野 和典（九州工業大学）

プレゼンター：中茎 隆（九州工業大学）、

北野 和義（岩国市立灘中学校）、

大塚 健一郎（佐賀県立致遠館高等学校）

- プレカンファレンス（8月23日（水） 9:00～11:50）
 1. 反転が生み出す“実践”論文執筆のブレークスルー
ーディスカッションベースの論文投稿ファシリテーションー（チュートリアル）
 2. eポートフォリオを活用したエビデンスに基づく人材育成教育の質保証（パネルディスカッション）
 3. 学習者中心のプログラミング学習環境の開発と評価（ワークショップ）

- 企画セッション（8月23日（水） 13:00～14:20, 8月24日（木） 9:00～11:50, 13:00～14:20, 8月25日（金） 9:00～11:50）・・・・・・・・・・・・・・・・（60件）
 1. 小型ハードウェアと電子工作による教育システム・ツールの開発（12件）
 2. 医療・看護・福祉領域におけるICT等活用教育（12件）
 3. ICT活用したPBL(problem/project based learning)の支援（4件）
 4. 新技術に基づくメディア/デバイスを活用した学習支援環境（9件）
 5. ラーニング・アナリティクス（LA）の先進事例と課題（4件）
 6. 組織的なeラーニング実践のための学習支援環境の構築と運用（4件）
 7. 身体知と認知に関わる連続性のあるスキル学習支援（11件）
 8. プログラミング的思考とプログラミング教育（4件）

- 懇親会
リーガロイヤルホテル小倉にて開催

学生研究特別セッション（インタラクティブ発表）・・・・・・・・・・・・・・・・（7件）

一般セッション（インタラクティブ発表）・・・・・・・・・・・・・・・・（61件）

一般セッション（口頭発表）・・・・・・・・・・・・・・・・（114件）

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|
| 1. アクティブラーニング（4件） | 14. 情報リテラシー（8件） |
| 2. アクティブラーニング・協調学習（4件） | 15. 初等中等教育（3件） |
| 3. HRD・生涯学習/初等中等教育（3件） | 16. スキル学習（8件） |
| 4. 遠隔教育（3件） | 17. 先進的学習支援（4件） |
| 5. 遠隔教育・ブレンディッド教育（4件） | 18. 先進的学習支援/ユーザインタフェース（4件） |
| 6. 学習環境デザイン/授業設計・インストラクショナルデザイン（4件） | 19. ソーシャルメディア活用/マルチメディア活用（4件） |
| 7. 学習者特性・行動分析（4件） | 20. デバイス活用（3件） |
| 8. 学習評価・アセスメント（6件） | 21. プラットフォーム開発（3件） |
| 9. 高等教育（4件） | 22. プラットフォーム活用（4件） |
| 10. 語学教育（4件） | |

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 11. コンテンツ作成支援／インフラストラクチャ (3件) | 23. ブレンディッド学習 (3件) |
| 12. 授業設計・インストラクショナルデザイン (7件) | 24. プログラミング教育 (7件) |
| 13. 情報技術教育 (3件) | 25. プログラミング教育／教科教育 (3件) |
| | 26. 分析技術/モデリング技術 (4件) |
| | 27. 連携型教育 (3件) |

■ インターネット接続について

学会期間中に、北九州国際会議場の無線 LAN サービスを提供予定です。利用希望者には、無線 LAN の受付において利用申請書を記入の上、ID・パスワードが記載された用紙を配布する予定です。

■ 講演論文集について

第 37 回大会より講演論文集の印刷を廃止し、CD-ROM、および Web による配布としております。Web 版の講演論文集は、8 月 17 日(木)に大会参加者のみに公開され、2018 年 3 月 1 日(木)に一般公開されます。

■ 緊急連絡先

「発表セッションに間に合わない」等の緊急事態発生時には、下記へご連絡ください。大会受付の担当者が対応いたします。

電話番号：080-3822-4968

受付日時：8/23（水）～8/25（金）の 8:00～18:00

■ 大会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

一般社団法人 教育システム情報学会 全国大会委員会

E-mail：jsise-desk@bunken.co.jp

2017 年度第 3 回研究会 講演募集

教育システム情報学会

担当：小西達裕(静岡大学), 林敏浩(香川大学), 安間文彦(サイバー大学)

■ テーマ：

組織的な e ラーニング実践のための学習支援環境の構築と運用／一般

■ 開催日時： 2017 年 9 月 22 日(金)

■ 会場：

サイバー大学 福岡キャンパス

(福岡県福岡市東区香椎照葉三丁目 2 番 1 号 シーマークビル 3 階)

<http://www.cyber-u.ac.jp/about/access.html>

■ 主旨：

本年度第 3 回研究会は「組織的な e ラーニング実践のための学習支援環境の構築と運用／一般」のテーマで開催いたします。近年、高等教育における e ラーニングは一般的となり、多くの教育機関で組織的に e ラーニング実践が展開されています。対面授業と組み合わせたブレンディッド型の e ラーニングのみならず、通信教育課程をもつ大学のようにフルオンラインでの講義を前提とした e ラーニング実践も増加してきました。それと共に、e ラーニング基盤を用いた大学間での単位互換の取り組み、コンテンツの共有、教育の共同実施なども展開されつつあります。本研究会では、こうした組織的な e ラーニング実践におけるさまざまな知見や運用における課題などを議論します。具体的には、LMS や e ポートフォリオなどのプラットフォーム開発や運用、コンテンツ開発環境の構築、オンライン上での演習・実習科目の実践、モバイル学習環境、クラウド環境の活用、履修継続のための学習支援、教育の質保証のための授業改善、単位互換制度やコンテンツ共有などの大学間連携の取り組みなど、組織の規模を問わず、幅広い観点から e ラーニングの実践に関する発表を募集します。

また、テーマに沿った内容ではない一般の研究発表も受け付けておりますので多くの皆様からのご発表のお申込みをお待ちしております。職場の同僚や共同研究をしているグループなど、お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。多くの皆さまの発表をお待ちしております。

■ 発表申込み締切： 2017 年 8 月 7 日 (月)

■ 発表原稿提出締切： 2017 年 8 月 23 日 (水)

■ 発表申込および原稿提出：

下記 URL の「発表申込・原稿投稿」よりログインをお願いします。

申込者情報登録 https://iap-jp.org/jsise/course2/personal_detail.php

申込者ログイン <https://iap-jp.org/jsise/course2/login.php>

注) 研究会予稿集電子化に伴い、「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました。以下のページをご確認ください。

研究会執筆要領：<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

研究会報告見本：<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

研究会報告ひな形：<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

オンライン講演申込・原稿投稿方法：<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■ 発表時間： 25分（発表17分、質疑8分）を予定しております。

■ お問い合わせ先：

安間文彦(サイバー大学, 第3回研究会担当委員)

e-mail: fumihiko_anma@cyber-u.ac.jp

2017年度第4回研究会 講演募集

教育システム情報学会

担当：長谷川 忍(北陸先端科学技術大学院大学),

柏原 昭博(電気通信大学), 小尻 智子(関西大学), 曾我 真人(和歌山大学)

■ テーマ：適応的なスキル学習支援／一般

■ 開催日時：2017年12月2日（土）

■ 会場：金沢工業大学 扇が丘キャンパス

（〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1）

http://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/ogigaoka.html

■ 主旨：

本年度第4回研究会は「適応的なスキル学習支援／一般」のテーマで実施いたします。

数学、物理、英文法などの形式知は、記号で記述でき、記号を通して万人が正解を共有可能です。それに対して、身体知、経験知、認識、行動、動作、技能、スポーツ、芸術、物づくりなどは、記号での表現が難しい場合が多いと言えます。このため、正解をあらかじめ記号としてシステムの中に書いておくという手法を用いることが難しく、それらの学習支援には、異なった手法を考案することが必要です。

本テーマでは、正解をあらかじめ形式知として表現することが困難な学習対象に対して、学習者の状態に応じた適応的な支援を実現する手法を中心に扱いたいと思います。そのような学習対象のモデリングや分析、新しい支援方法の提案、支援環境の構築事例、評価法の提案、評価の結果などに関するご発表と、活発な議論を行えればと考えております。また、テーマに沿った内容ではない一般の研究発表も受け付けておりますので、多くの皆様からのご発表のお申込みをお待ちしております。

なお、本研究会は、電気情報通信学会教育工学(ET)研究会との合同開催となります。

■ 発表申込締切 2017年10月10日（火）

■ 発表原稿提出締切 2017年11月2日（火）

■ 発表申込および原稿提出は、下記URLよりお願いします。

http://www.jsise.org/society/committee/2017/CFP_4th.html

※ 申込者情報、登録申込者ログインは9月下旬にオープンいたします。

注) 研究会予稿集電子化に伴い、「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました。以下のペ

ージをご確認ください。

研究会執筆要領：<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

研究会報告見本：<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

研究会報告ひな形：<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

オンライン講演申込・原稿投稿方法

<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

■ 発表時間は 25 分（発表 18 分、質疑 7 分）を予定しております。

■ 懇親会：研究会終了後、懇親会を開催する予定です。会費は4000円程度の予定です。

■ お問い合わせ先：北陸先端科学技術大学院大学 長谷川忍

E-mail：hasegawa@jaist.ac.jp

2017年度 第2回研究会 開催報告

- テーマ：ICTを活用した学習支援と教育の質保証／一般
- 共催：信州大学総合情報センター
- 開催日：2017年7月8日（土）
- 開催会場：信州大学 松本キャンパス中央図書館（長野県松本市旭3-1-1）
- 担当：不破 泰，小松川 浩，布施 泉，野崎浩成，金子大輔（研究会委員会）
長谷川 理，時田真美乃，山川広人(研究会運営協力)

■ 発表件数：16件

■ 参加者数：30名

■ 概要：

2017年7月8日（土），信州大学 松本キャンパスの中央図書館（長野県松本市）を会場として，2017年度の第2回研究会を開催しました．今回は，信州大学総合情報センターとの共催で行われました．今回，共催して頂いた同センターのご支援により，土曜日であるにも関わらず，充実した教室・設備を利用させて頂き，心より感謝申し上げます．参加者は30名で，2つの教室にて，研究発表と活発な議論・質疑が行われていました．具体的には，IoT，深層学習などの新しい技術，質的データ分析や，学習者行動・読書行動の分析，著作権や知的財産権の保護，教育へのICT活用，教育実践研究，反転授業，プロジェクションマッピング等のコンテンツ制作などについて，その教育的評価を行うことで，教育の質保証を図るという立場での研究発表が数多くなされました．研究会終了後の懇親会でも学術的な交流を深めることができました．朝夕の気温は比較的低温爽やかな松本市にて，仲間とともに語り合った懇親会は，厳しい熱帯夜に悩まされてきた者にとって，夏の厳しい暑さをしばし忘れ，とても有意義な時間を過ごすことができました．なお，16件の研究発表のテーマは，以下の通りです．

- ・ 深層学習による協調学習データの自動コーディングに向けて-
- ・ 著作権学習システム「創作エディタ」の改良とMoodleプラグイン化
- ・ 教育実践研究とシステム開発研究を連携させるための要件に関する検討：教育実践研究の立場から
- ・ IoT技術を用いたグループ学習におけるコミュニケーションの質と量の可視化に関する研究
- ・ 認知科学を取り入れたプログラミング多重ループ理解の効果的学習法について
- ・ Webとの関係を意識させるIoTプログラミング実習の提案
- ・ シャトル型コミュニケーションを対象とした質的分析手法の分析能力の検証
- ・ 学習行動の特徴分析による授業改善情報の提供について
- ・ 産業社会に関する教育のICTの活用と知的財産の保護（4）
- ・ 様々なセンサを用いた読書行動解析
- ・ 地域連携事業における栗崎遊園跡地でのプロジェクションマッピングの制作と実演
- ・ 大人数講義形式におけるインタラクションを工夫した授業デザイン
- ・ コンピュータ演習におけるルーブリック評価の導入
- ・ 適応型学習支援システムの反転授業への導入と評価
- ・ 小学校教諭免許取得を目指す学生を対象としたピアノを用いない練習による演奏技術の向上に関する研究
- ・ プレゼンテーション改善のためのセルフリハーサルにおける客観視促進

教育システム情報学会研究会における不適切な質問等への対応について

教育システム情報学会 研究会委員会

教育システム情報学会研究会は、教育システム情報学に関わる最新の研究や実践に関する情報交換および意見交換を通して、学会の発展、ひいては当該研究分野の発展において極めて重要な役割を果たしています。さらに、専門領域の近い研究者による緊密なネットワークが大学や研究機関を越えたところで構成されているため、若手研究者の発掘や育成、今後社会に出る学生の教育の場としても、研究会の重要性は非常に大きくなっています。

こうした研究会においては、様々な立場の参加者が自由闊達に議論できることが最も重要です。一方で、意見交換や育成・教育の範囲を大きく逸脱して、研究方法や研究分野、さらには発表スタイルなどを問題とする質問等を執拗に行い、発表者や聴講者に不快感や不利益を与えることは厳に慎まなければなりません。こうした問題が放置されると、研究会への参加だけでなく、学会活動全般、さらには教育システム情報学への関心の拡大に大きな悪影響を及ぼします。

教育システム情報学会研究会においては、意図の有無に関わらず、正当な根拠なく相手に不利益を与え、相手の尊厳を侵害する行為があった場合に、研究会担当委員および座長担当者が、質問の制止や質問者に退席の指示を行えるものとしています。研究会の参加者だけでなく、研究会に関連する全ての人々が快適で安心して研究会に寄与できる環境を維持し、研究分野のさらなる発展と、これを通じた社会貢献を行うために、研究会における皆様の建設的な質疑へのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。

電子情報通信学会 信越支部大会における
教育システム情報学セッション開催のご案内
(北信越支部)

北信越支部では、10月7日(土)に信州大学長野(工学)キャンパスにて開催される電子情報通信学会 信越支部大会において、教育システム情報学に関するセッションを主催いたします。北信越地区に限らず、同分野に関して多くの研究者・学生が集まる機会として、ご活用いただきますようお願いいたします。

講演申込・原稿投稿などに関する日程は、以下のとおりです。

7月28日(金)17時：原稿投稿および発表申込締切

9月11日(月)17時：懇親会申込・バス利用 web 申込締切

※ 送迎バスの申し込みは先着順で定員になり次第締切

詳しくは電子情報通信学会 信越支部のWebページをご参照ください。

電子情報通信学会 信越支部：<https://www.ieice.org/shinetsu/>



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究報告は、現在 31 巻を数え、これまで教育システム情報学に関して毎年 140 件程度の研究成果(2014 年度 139 件、2015 年度 138 件の発表論文)を掲載し、大変多くの皆様にご購読いただけて参りました。2016 年度からは印刷媒体での研究報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得となっております。

- ・年間購読:4,000 円(定例研究会年 6 回、特集研究会 1 回、計 7 回分を含む)
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をいただいている方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====
※研究報告年間購読希望
会員番号 (お分かりであれば) :
お名前 :
所属 :
連絡先 e メールアドレス :
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。



Twitter アカウント開設しました

2016年8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局分室 (secretariat@jsise.org) へお願いします。また、Facebook アカウントとの連携も行っており、Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので、ぜひご活用 (フォロー) ください。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2017年7月27日現在、フォロワー数 169 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています。本ページでは、

- ・論文・発表募集
- ・本学会に関連するイベントの情報

などを、いち早くお届けします。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2017年7月27日現在、いいね 303 件



他団体 協賛・後援のお知らせ

他団体 協賛・後援のお知らせ

後援 「ラーニングイノベーション 2017」

日時：2017年6月28日（水）～30日（金）

会場：東京国際フォーラム

後援 「第17回日本情報オリンピック」

日時：予選：2017年12月10日（日）

本選：2018年2月10日（土）・11日（日）

会場：つくば国際会議場・国立オリンピック記念青少年総合センターほか

後援 「第30回国際情報オリンピック日本大会」

日時：2018年9月1日（土）～8日（土）

会場：茨城県つくば市 つくばカピオ・つくば国際会議場ほか



会費納入のお願い

2017 年度年会費納入についてのお願いです。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願い致します。

- 「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託
をしております、株式会社国際文献社のものになります。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱東京 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※4月より所属が変更となった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

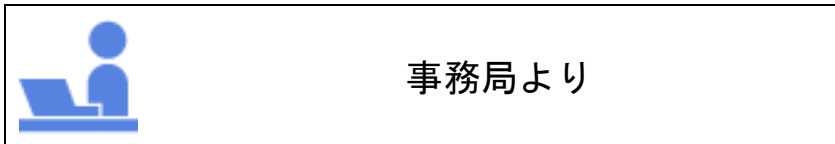
【2016年度あるいはそれ以前の会費を支払われていない方】

マイページでは、すべての会費が合算された金額が請求されます。先に2016年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、定款の定めに従って除名手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局 (secretariat@jsise.org) までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-5937-5816 Fax:03-3368-2822 Email : secretariat@jsise.org



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものになります。

■会員専用ページでは、以下のことが可能になります。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要となります。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

学会誌・研究会報告のバックナンバーのお求めは

(株)毎日学術フォーラムまでお申し込みください。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2 階

TEL : 03-6267-4550 / FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp / URL : <http://maf.mycom.co.jp>

■JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局分室までご連絡ください。

この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■年間購読料 4,000 円 / 年 6 回発行 <送料込>

新入会員のご紹介

下記の皆様が新しくご入会されました。 2017年3月24日～2017年5月23日

氏名	会員種別
豊田 哲也	正会員
大山 牧子	正会員
永井 弘人	正会員
清水 佑起	学生会員
油谷 知岐	学生会員
酒井 郷平	学生会員

氏名	会員種別
岩井 健吾	学生会員
橋本 陽生	学生会員
及川 久遠	正会員
彦坂 和里	正会員
丸川 眞佳	学生会員
大工原 裕之	正会員

入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などをメールにてご案内いたします。教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

URL: <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。